



中央アジア地域ニュース

カザフスタン：中央銀行による対外債務額の公表

(5月8日付「インタファクス・カザフスタン」)

1. 5月8日、アイマンベトヴァ中央銀行取締役会副議長の対外債務の現状に関する発表。
 - (1) 2006年末時点でのカザフスタンの対外債務残高は、前年比72%増の738億ドル(2005年末426億ドル)。
 - (2) 対外債務の大幅増加の主要因は、国内銀行部門による借入の増加であり、昨年一年間に同部門が借入を180億ドル増やした結果、借入総額は333億ドルにまで拡大した。
 - (3) 同時期、非銀行部門債務は110億ドル増加し、うち61億ドルが企業間債務であった。2006年末の企業間債務残高は254億ドル。
 - (4) 政府及び中央銀行の対外借入は10億ドル増加し、29億ドルに達したが、これには中央銀行による国内向け短期債の追加発行が大きく影響した。
 - (5) 国内銀行部門の大幅借入増により対外債務構成が変化し、銀行部門借入が全体に占める割合は2005年の35%から06年に45%へ拡大する一方、企業間債務の同割合は44%から34.4%に縮小、政府及び中央銀行債務の同割合は3.9%へ縮小した。債務の種類については、短期債務の占める割合が2005年の18.6%から06年には15.8%へ縮小した。
2. バザロヴァ中央銀行収支・為替管理副局長の国内民間銀行債務に関する発表。
 - (1) 国内民間銀行全体で、2007年中に少なくとも140億ドルを対外債務の返済に充てる必要がある。
 - (2) 中央銀行の試算によれば、主要債務の返済額は120億ドルで、利子を含めて140億ドルの支払となる計算。